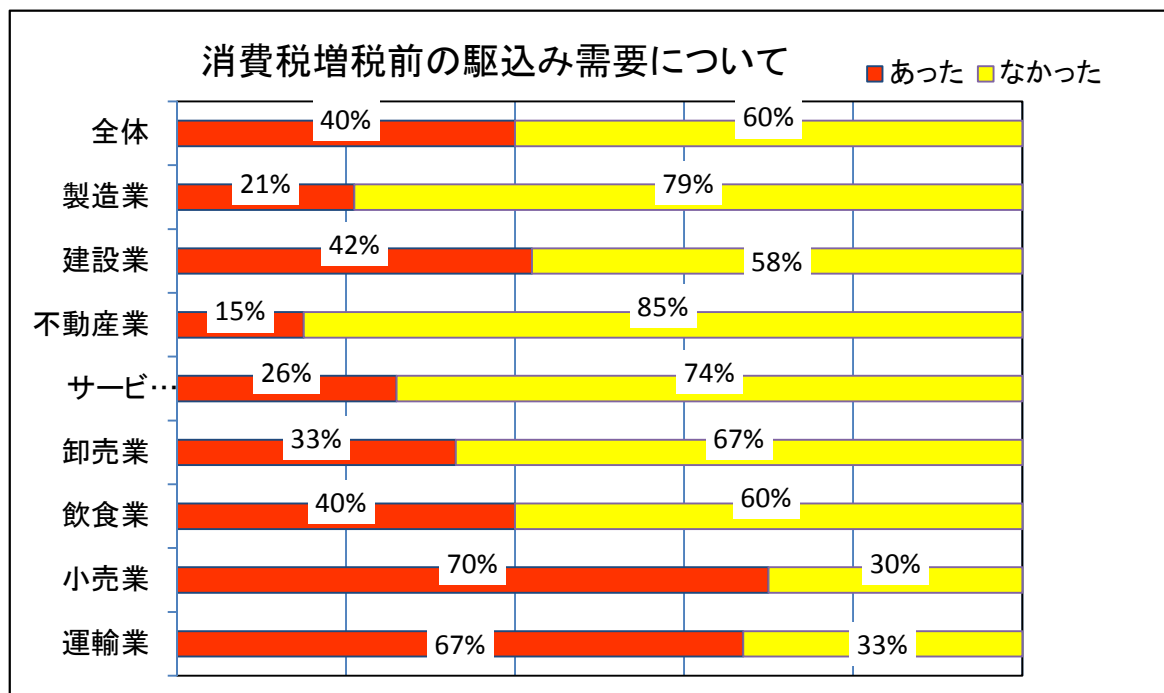


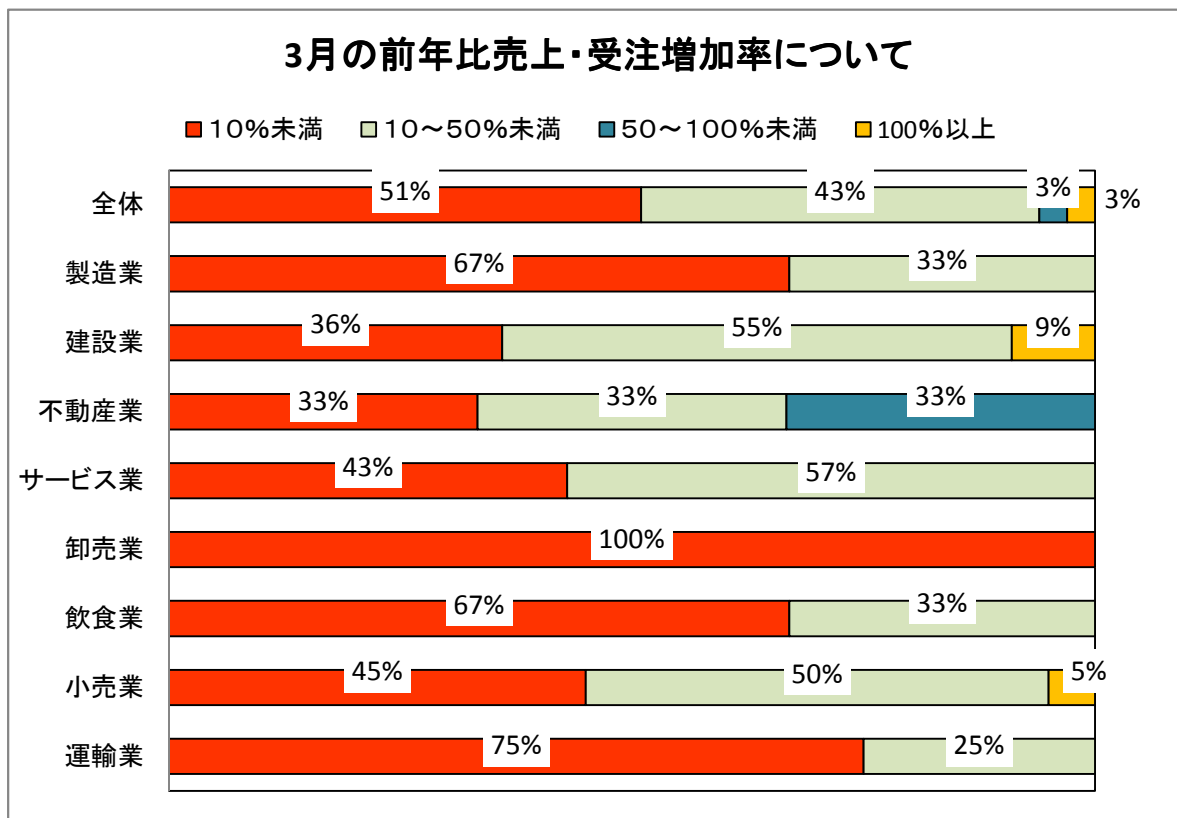
調査4 消費税増税前の駆け込み需要について

消費税増税前の駆け込み需要があった業種として、小売業(70%)、運輸業(67%)、建設業(42%)が多く、駆け込み需要が少なかった業種は、不動産業(15%)、製造業(21%)、サービス業(26%)であった。全体的には60%の企業がなかったと回答した。



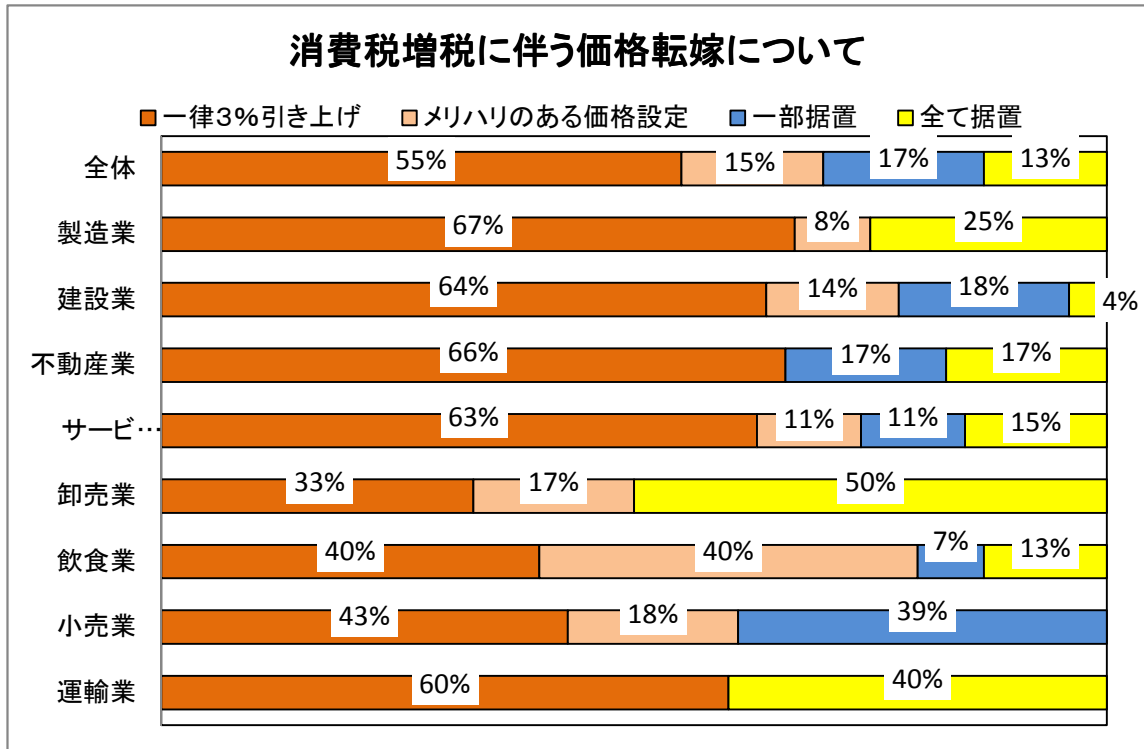
調査5 駆け込み需要のあった3月の売上・受注実績の前年同月との比較について

全体的には、「10%未満」の増加率が一番多くて全体の51%であった。次いで、「10~50%未満」が43%、50%以上の増加が6%であった。不動産業、サービス業では、駆け込み需要の企業が少なかったにもかかわらず、その企業の売上増加率は非常に高いことが分かった。100%以上の増加率も若干みられた。



調査6 消費税増税に伴う価格転嫁について

全体的には、「一律に3%引き上げ」が一番多く55%で、次いで「一部据置」17%、「メリハリのある価格設定」15%、「全て据置」13%であった。「全て据置」の回答が多かった業種は、卸売業(50%)、運輸業(40%)であった。



調査7 消費税増税後、4~5月の売上・受注実績の前年同時期との比較について

全体では、59%が「同水準」及び「増加」しており、41%が「減少」している。業種別でみると製造業、建設業、卸売業、飲食業、運輸業は消費税増税後の影響は少ない。一方、小売業が消費税増税の影響を一番受けていることがわかった。

